※令和４年度以降入学生用

学校番号	309

令和５年度　外国語科

教科	科目	単位数	指導学年	教材名・副教材名
外国語	論理・表現Ⅰ	2	1	FACTBOOK Ⅰ English Logic and Expression 及び準拠 Workbook Mastery

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

設定された場面で使われうるモデルダイアログを通じ、ターゲットとなる表現とそれに関わる文法を学び、パターンプラクティスを通じて類似した場面でそれを応用して使いこなせるようになる。特に学習者が理解しづらい文法は副教材でさらに練習を重ね理解と定着を図る。また、それらの表現を用い、今度は自分の意見を論理的に相手に伝える演習を行い、実践に繋げる。評価としては毎回の予習復習、及び授業に対する積極的で前向きな態度を評価する。

2 学習の到達目標（「CAN-DO リスト」の形での学習到達目標）

【第１学年】

領域	聞くこと	読むこと	話すこと（やり取り）	話すこと（発表）	書くこと
学習到達目標	日常的なやり取りや身近なトピックや社会問題についての英語を聞いて、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題に関する文章を読んで、概要や要点を理解することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って質疑応答をすることができる。	身近なトピックや社会問題について、自分の意見をまとめて簡潔に発表することができる。	身近なトピックや社会問題について、適切な表現を使って自分の意見をまとめて書くことができる。

3 学習評価(評価の観点と実施方法)

観点	a 知識・技能	b 思考・判断・表現	c 主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	与えられた場面にふさわしい表現や文法を正しく理解・習得し、またそれを応用できる力を身につける。予習・復習、小テスト、及び定期テストで理解度・到達度を評価する。	理解・習得した知識や技能を用い、今度は自分自身に置き換えて応用することができる。求められた情報を自分の言葉で発信したり、自分の意見を相手に伝わるよう論理的に述べたり書いたりできる。課題、小テスト、定期テスト、授業中での発表により到達度を評価する。	予習・復習や課題への取組など、主体的に取り組むことができる。また授業中に積極的に発言、発表するなどの態度を評価する。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまり（領域）ごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4 学習の活動

学期	課 “題材名”	領域	評価規準	評価方法
1	Part 1 (Unit 0,1,2,他) 経済・社会	聞くこと	a: 動詞/否定文・疑問文/基本文型の理解と定着 b: 相手の情報を聞き出し会話を続け、自分との共通点を探す c: 応用として自分の考えを付け足すことができるようになる	a: 定期考査 小テスト b: 定期考査 授業中の言語活動への取り組み
		書くこと	a: 時を表す表現の理解と定着 b: 自分の希望を伝え、相談しながら予定や計画を立てられる c: 相手の発言への反応、感情を伝え、また感想を書くことができる	

※令和４年度以降入学生用

		話すこと （やりとり）	a: 完了形の理解と定着 b: 町の描写や魅力を紹介し、相手に勧めたり誘ったりできる c: 相手の期待に反すること、また意見を認めた上で反論できる	ライティング等 提出物・発表 c: 授業中の言語活 動への取り組み ノート等提出物
		話すこと （発表）	a: 意見を明確に示したまとまりのある文章を書くことができる b: 自分が将来今の町に住み続けたいかについてスピーチができる	
	中間考査			
	Part 2 (Unit 3,4,他) 環境・資源	書くこと	a: 助動詞の理解と定着 b: 店員として商品紹介・特長を説明、客として要望を伝え購入できる c: 念押し・確認・聞き返すなどができる、パンフレットの作成	a: 定期考査 小テスト b: 定期考査 授業中の言語活 動への取り組み ライティング等 提出物・発表 c: 授業中の言語活 動への取り組み ノート等提出物
		話すこと （やりとり）	a: 受動態の理解と定着 b: 相手が知らない情報の説明、問題に対処する道具の紹介ができる c: 相手の発言への共感・明確な肯定ができる、ポスターの作成	
		話すこと （発表）	a: 適切な理由が示されたまとまりのある意見文を書くことできる b: 環境に配慮した生活の維持に必要なことをスピーチできる c: スピーチに対する質疑応答ができる	
	期末考査			
2	Part 3 (Unit 5,6,他) 生活・健康	読むこと	a: 不定詞の理解と定着 b: 状況を踏まえ問題解決、情報照合し条件に合うものを確認できる c: 考え中だと伝える・話を踏まえて相手に勧める、手紙の作成	a: 定期考査 小テスト b: 定期考査 授業中の言語活 動への取り組み ライティング等 提出物・発表 c: 授業中の言語活 動への取り組み ノート等提出物
		書くこと	a: 動名詞の理解と定着 b: 生活習慣を確認、改善点を伝える、相手の悩みにアドバイスできる c: 相手への同情・共感を示す、確信を示す、ウェブの掲示板作成	
		話すこと （発表）	a: 適切な具体例や説明が示されたまとまりのある意見文を書ける b: フードロスを減らすのに必要なことをプレゼンテーションできる	
	中間考査			
	Part 4 (Unit 7,8,他) 消費・産業	書くこと	a: 分詞の理解と定着 b: 贈り物を相談しながら決定、贈り物への感謝の意を伝えられる c: 驚きを表す、相手へ提案する、感想やお礼を伝えるメール作成	a: 定期考査 小テスト b: 定期考査 授業中の言語活 動への取り組み ライティング等 提出物・発表 c: 授業中の言語活 動への取り組み ノート等提出物
		話すこと （やりとり）	a: 比較の理解と定着 b: 商品を比較しながら紹介、図表を見ながら内容を説明できる c: 聞き返す、相手の発言の意図を確認、商品の良さをブログ発信	
		話すこと （発表）	a: つなぎ言葉を用いて論理的な流れの意見文を書ける b: 賛成と反対の立場に分かれて簡単なディベートができる c: 安価なシャツを買うかどうかについてスピーチができる	
	期末考査			
3	Part 5 (Unit 9,10,他) 平和・公正	書くこと	a: 関係詞節やその他の節の理解と定着 b: 互いの考える方法を具体的に説明、希望を伝え合うことができる c: 理解していない旨を伝える、話題に論点を加える、問合せメール作成	a: 定期考査 小テスト b: 定期考査 授業中の言語活 動への取り組み ライティング等 提出物・発表 c: 授業中の言語活 動への取り組み ノート等提出物
		話すこと （やりとり）	a: 仮定法の理解と定着 b: 要望に合った提案、問題の解決策を話し合うことができる c: 相手の発言への同意、遺憾の意を示す、パンフレット作成	
		話すこと （発表）	a: 語句や文の繋がりのよい構成の整った意見文を書ける b: 司会者を立てて簡単なディスカッションをし、結論を出す c: 移住してきた外国人に伝えることについてスピーチができる	
	学年末考査			

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度